
第 2 6 1 号

2009 年 8 月 11 日

日 本 気 象 学 会

関 西 支 部 ニ ュ ー ス

- 2009 年度 関西支部理事会報告
- 2009 年度 関西支部年会および総会報告
- 支部発行過去文献の電子化保存と公開に関するお願い
- 日本気象学会関西支部予稿集・要旨集原稿作成要領の改訂
- 関西支部 第 31 回 夏季大学案内
- 第 3 回気象サイエンスカフェについて
- 2009 年度第 1 回例会（四国地区）、第 2 回例会（中国地区）について
- 会員種別について
- メールアドレス登録のお願い
- 住所変更届のお願い
- （社）日本気象学会入会案内

〒 540-0008

大阪市中央区大手前 4 丁目 1-76

大阪合同庁舎第 4 号館

大阪管区气象台内

日本気象学会関西支部

振替 00980-5-18318

TEL (06) 6949-6322

FAX (06) 6944-2121

ホームページ：

<http://www.k3.dion.ne.jp/~msj-knsi/>

E-mail：

msj-kns@s2.dion.ne.jp

(注：メールアドレスはスパム対策のため全角で記しています。メール送信の際は半角で入力してください。)

○ 2009 年度 関西支部理事会報告

6 月 27 日 11 時から、府立労働会館（エル・おおさか）において、2009 年度総会に先立ち理事会が開かれ、瀬上支部長の挨拶後、中山常任理事の司会で、午後からの総会を前に、各議題の報告及び審議が行われました。

1. 第 28 期役員の新補充、交代について

木村氏の人事異動に伴い、4 月 1 日付で森氏（高松地方气象台）が地区理事（四国）に就任しました。また、幹事の牧田氏に代わり、諸岡氏、高橋氏（大阪管区气象台）が指名されました。

また、6 月 27 日をもって、中山氏に代わり、諸岡氏が常任理事に就任するとともに、地区理事（中国）が山本氏から大橋氏（岡山理科大学）に交代しました。さらに、地区理事（近畿）の山路氏に代わって、石黒氏（日本気象協会）が就任する旨が報告されました。

2. 2008年度支部奨励金受領候補者について

2008年度も該当者がなく、2009年度以降の支部奨励金のあり方につき、第6項のとおり総会で説明して議論することになりました。

3. 会計統合について

昨年度の支部総会で気象学会の公益法人移行について説明しましたが、支部会計統合の背景として説明が必要であると考えられることから、今年度の支部総会でも改めて説明を行うことにしました。

4. 過去文献の電子化と公開

常任理事会では、会員の研究の便宜を図るのみならず、文化的にも意義があることから、年会や例会の要旨集や予稿集および夏季大学のテキストなどの過去文献の電子化を推進することとし、一部の電子化を行ってきました。公開に当たっては、会員に著作権委譲をお願いするためにホームページでお知らせし、次の総会までの約1年間に異議が寄せられなかったものについて公開する旨を総会に諮ることになりました。

5. 日本気象学会 2010年度秋季大会について

2010年10月27日(水)～29日(金)に「京都テルサ」で開催する予定です。今年の秋頃に実行委員会を立ち上げて、準備を進めていきます。

6. 総会資料の検討

2008年度の事業報告、収支決算報告、及び会計監査報告について、各担当理事が説明し、続いて、2009年度事業計画案と予算案について各担当理事が説明しました。

2009年度の中国地区例会が2009年12月19日(於：岡山市)及び四国地区例会が2009年12月11日(於：高松市)に決まったこと、関西気象予報士会と共催で開催する第3回「気象サイエンスカフェ」が2009年9月5日(於：大阪心齋橋英國屋本店)でほぼ確定したことなどが担当理事から報告されました。第31回夏季大学は「集中豪雨とメソ気象」のテーマで2009年8月29日(土)に京都市で開催し、広報用ポスターの配布について、担当理事から協力依頼がありました。

会計統合に関連して、支部発行の過去文献の電子化に向けて、常任理事会で具体的に検討を進め、その他は例年通りの事業計画とする旨の説明がありました。

支部奨励金は、2004年度以降支部奨励授与者がなく、授与条件も現在は本部と同じであることから、関西支部独自の奨励金制度を廃止し、今後は本部奨励制度へ積極的に推薦してゆくことを総会で提案することにしました。



挨拶する瀬上支部長

○ 2009年度 関西支部総会および年会報告

<2009年度気象学会関西支部総会> 2009.06.27 13:00~13:50

総会は、中山常任理事の司会で始まり、最初に総会成立審査を行い、高橋幹事から通常会員の出席者（25名）と委任状（102名）をあわせて127名で、関西支部通常会員数178名の過半数を超えており総会が成立する旨報告がありました。

続いて、第28期役員補充・交代の紹介の後、瀬上支部長から『気象学会の公益法人移行（2010年5月）、支部発行の過去文献の電子化と公開、来年の秋季大会の準備が、今年度の関西支部活動の大きな柱となるので、しっかり取り組んでいきたい』との開会の挨拶がありました。

この後、会計統合に関連して日本気象学会の公益法人移行について担当理事から説明を行いました。支部の活動資金は、支部会計が統合されても、支部独自で実施している活動等に要する費用は本部が配慮すること、各支部の基金などは支部支援活動などに優先的に活用できるように配慮されることが説明されました。また、過去文献の電子化と公開について、「保存の観点で電子化を進めているが、公開に当たっては、会員に著作権委譲をお願いするためにホームページでお知らせし、次の総会までの約1年間に異議が寄せられなかったものを公開する」という担当理事からの提案は、賛成多数で承認されました（詳細については、後述の「支部発行過去文献の電子化保存と公開に関するお願い」をご覧ください）。

その後、京都大学の井口敬雄会員を議長に選出して議事が進められました。まず、2008年度の事業報告・収支決算報告・会計監査報告が行われました。収支決算報告の際に、秋季大会などの収入の記載漏れを計上したことから雑収入の額が大きくなっていること、今後の支部活動の充実を図るために年度末にパソコンやプロジェクターの備品を購入したことが、会計担当理事から説明されました。これらの報告は賛成多数で全て原案どおり承認されました。

続いて2009年度事業計画案・予算案が審議され、これも原案どおりすべて賛成多数で承認されました。このことにより、支部奨励金は廃止され、それに関わる規定が削除されたことから、2009年度の予算案に関西支部独自活動費として本部から交付予定の支部調査研究奨励金（10万円）は、交付された場合には本部に返還する旨、会計担当理事から追加の説明があり、了承されました。

議長解任の後、総会は閉会となりました。

<2009年度気象学会関西支部年会> 2009.06.27 14:00~16:40

年会には総会出席者の他、研究発表に関係した気象台職員や大学生や気象予報士の約40名が出席し、広い会場がかなり埋まりました。発表件数は8題で昨年の1題減であり、発表時間は昨年同様に質疑を含め15分としました。次年度はもう少し発表題数（特に大学からの）を増やすことが望まれます。



年会の発表光景

座長は、前半4題を向川氏（京都大学）、後半4題を高橋氏（大阪管区気象台）が担当し、それぞれの発表と質疑が行われました。今年は、小学校の教員を志望する学生に「西から東への天気変化」の気象学的背景を説明するかという気象教育に係る発表の他、2005年12月の神戸の大雪事例について、データの解析から数値シミュレーションまで行った3題の発表もありました。

岡山大学や日本気象協会関西支社、気象台の会員から幅広い分野の発表があり、それぞれの発表に対して活発な質疑が行われ、予定の終了時間をオーバーするほどでした。

年会終了後の懇親会にも20名の参加があり、研究発表での議論の続きと関西支部の活動などの話に花が咲きました。

○ 支部発行過去文献の電子化保存と公開に関するお願い

関西支部では、過去に支部が発行した文献（具体的には年会や例会の要旨集や予稿集、及び、夏季大学のテキストなどに掲載された論文を指し、近畿地区例会要旨集には海洋気象学会の論文も含む。以下「掲載論文等」と略す。）の電子化保存を進めています。2009年度関西支部総会で承認された、電子化された掲載論文等の公開の手続きに関連して、すべての著者のみなさまに重要なお知らせです。

1975年以降の掲載論文等のすべての著者に対し、当該記事の著作権を日本気象学会関西支部に委譲下さいますように、お願いいたします。

公開を希望されない文献については、お知らせいただければ公開の対象から除外しますので、その旨を日本気象学会関西支部事務局までお知らせください。

2010年度総会開催前の5月末日までを意見のお申し出期間とし、それまでにご異論がなければ、著作権を学会に委譲されたものとして、電子化された掲載論文等を公開対象とします。

過去の掲載論文等の電子化保存・公開事業は、研究の便宜を図るだけでなく、文化史的にも大変意義のある事業です。気象学会会員及び著者の皆様のご理解とご協力をお願い致します。なお、本件に関わる詳細は、関西支部ホームページ

<http://www.k3.dion.ne.jp/~msj-knsi/denshika.pdf>

をご覧ください。

また、本年度（2009年度）以降の掲載論文等についても、著作権が気象学会関西支部（海洋気象学会会員分は海洋気象学会）に帰属することを条件に募集します。支部会員の方々には以上の趣旨をご理解いただき、ご賛同下さいますようお願い致します。

○ 日本気象学会関西支部予稿集・要旨集原稿作成要領の改訂

支部発行文献の公開や原稿送付方法の追加（PDF原稿）に関連して、「日本気象学会関西支部予稿集・要旨集原稿作成要領」を変更します。

<http://www.k3.dion.ne.jp/~msj-knsi/regular/genko.html>

キーワードについては、2009年2月6日に開催された日本気象学会関西支部第28期第4回常任理事会（http://www.k3.dion.ne.jp/~msj-knsi/meeting/28_4.pdf）で議論されたよ

うに、最近のコンピュータ環境における検索機能充実を鑑み、作成要領から削除します。なお、「天気」編集委員会で内容分類表とともにキーワードを新たに見直す動きもあり、その動向をみながら、今後、本要領を変更していきたいと考えます。

○ 関西支部 第31回 夏季大学

今年の夏季大学は、会員の便を考慮して、例年よりも遅い8月末の週末の1日（土曜日）に開催します。テーマは、昨今、関心が高まっている「集中豪雨とメソ気象」です。以下とおり、2つの講演と天気図実習を予定しており、受講料は2,000円（テキスト代等を含む）とお手ごろな料金となっています。まだ席に若干の余裕がありますので、高校生以上の方で興味のある方は、受講をお待ちしております（締切：8月20日）。

講演や実習の概要、申し込み方法などは関西支部のホームページをご覧ください。

<http://www.k3.dion.ne.jp/~msj-knsi/summer/kaki09.html>

日本気象学会関西支部 第31回 夏季大学「集中豪雨とメソ気象」

8月29日（土） 10:00~17:00（於：キャンパスプラザ京都（京都駅前）4階第3講義室）

1 「積乱雲の発達と集団化のメカニズム」

竹見哲也氏（京都大学防災研究所気象・水象災害研究部門准教授）

2 「梅雨前線帯と集中豪雨」

加藤輝之氏（気象研究所予報研究部主任研究官）

3 「集中豪雨時の天気図実習」

中山繁樹氏（大阪管区気象台技術部次長）他

○ 第3回気象サイエンスカフェについて

今年は、関西気象予報士会の協力で9月5日（土）に大阪心斎橋英國屋本店で第3回を開催する予定です。ゲストに（財）日本気象協会関西支社の小川真季（おがわまさき）さんを招き、「お天気キャスターの目から見た野球～甲子園球場の気象特性～」のタイトルで実施します。詳細はこちらをご覧ください。なお、申込の締切は8月31日となっておりますので、お早めに…

http://www.k3.dion.ne.jp/~msj-knsi/science_cafe/3.pdf

○ 2009年度第1回例会（四国地区）、第2回例会（中国地区）について

関西支部 2009年度第1回例会

開催日：2009年12月11日（金）

会場：香川大学幸町キャンパス

研究交流棟5階「研究者交流スペース」（〒760-8522, 香川県高松市幸町1-1）

テーマ：設定せず

特別講演：未定

発表申込締切：11月11日（水）必着

要旨集原稿締切：郵送によるもの：11月11日（水）必着

PDFによる電子投稿：11月18日（水）

関西支部 2009 年度第 2 回例会

開催日：2009 年 12 月 19 日(土)

会場：岡山大学教育学部講義棟 1F (5101 講義室) (岡山市北区津島中 3-1-1)

テーマ：設定せず

特別講演：未定

発表申込締切：11 月 18 日(水) 必着

要旨集原稿締切：郵送によるもの：11 月 18 日(水)必着

PDF による電子投稿：11 月 25 日(水)

申込方法などについては、「天気」8 月号あるいは関西支部ホームページをご覧ください。

○会員種別について

会員の種別につきましては、2006 年度理事会・総会において「支部会員の種別化について、2004 年 8 月から既に本部で実施している形をそのまま準用し、今後通常会員のみ選挙権や議決権をもつこととする。」ことが承認されました。このため、通常会員は総会の議決権及び役員選挙における選挙権と被選挙権があり、特別会員にはありません。特別会員から通常会員に、あるいはその逆への変更はいつでもできますので希望される方は日本気象学会事務局まで連絡して下さい。

○ メールアドレス登録のお願い

関西支部ニュースは年 3 回 (5 月、8 月、3 月) 発行予定で、2006 年度から関西支部ホームページに掲示して閲覧していただいています。支部ニュース発行、総会・年会・例会などの開催通知は、支部全会員に E-mail で配信していますが、E-mail アドレスの登録は約 7 割となっています。まだ登録されていない会員の方は、会員氏名・番号、E-mail アドレスを関西支部事務局まで、ご登録いただくよう重ねてお願いします (関西支部の連絡先などは最初のページをご覧ください)。

○ 住所変更届のお願い

機関誌「天気」などの発送は学会本部事務局の会員名簿に基づいて行っています。学会事務局では会員の皆様の移動状況を早めに把握するように努めておりますが、把握漏れがあった場合には旧勤務地 (旧住所) に発送され、旧勤務地 (旧住所) の方に転送等の御迷惑をおかけすることになります。会員の皆様におかれましては、転勤等により勤務地 (住所) が変わった場合、変更届を速やかに下記の学会本部事務局宛にご連絡いただきますようお願いいたします。

※学会事務局 〒100-8122 東京都千代田区大手町 1-3-4 気象庁内

TEL : 03-3212-8341 (内線 2546) FAX : 03-3216-4401

E-mail met soc-j@aurora.ocn.ne.jp

(注：メールアドレスはスパム対策のため全角で記しています。メール送信の際には半角で入力して下さい)

住所等の変更届

・会員番号： No.

・氏名：

・旧勤務地 (旧住所)：〒

・新勤務地 (新住所)：〒

入会を希望される方はどなたでも入会できます。学会のホームページからオンライン (Web 入力) による手続きができます。郵送またはFAXで申し込まれる方は個人用又は団体用の申し込み用紙をホームページから入手するか、次ページを利用し、必要な事項を記入したうえ、学会事務局本部に郵送またはFAXで送付して下さい。

会費の納入など詳しいことは学会事務局にお尋ね下さい。

※学会事務局 〒100-8122 東京都千代田区大手町 1-3-4 気象庁内
TEL : 03-3212-8341 (内線 2546) FAX : 03-3216-4401

ホームページ : <http://wwsoc.nii.ac.jp/msj/Form/nyukai-j.html>

入会申込書 (個人用)		(社団法人)日本気象学会	
(太線の枠内だけを記入して下さい)		FAX : 03-3216-4401	
個人会員番号	所属支部	受付日	20 年 月 日
		承認日	20 年 月 日
フリガナ		生年月日	19 年 月 日
姓 名		職 業	
性 別	1. 男 2. 女		
郵便物の送付先			
〒 -		(電話)	
現住所 (郵便物の送付先と同じ場合は記入しなくてよい)			
〒 -		(電話)	
勤務先または大学名 (部署、学部等詳細に) (郵便物の送付先と同じ場合は記入しなくてよい)			
〒 -		(電話)	
入会時の「天気」への「住所」の掲載			
1. 郵便物の送付先 2. 現住所 3. 勤務先・大学名 4. 掲載を希望しない			
電子メールアドレス			
(学会メーリングリストへの登録は学会HP (http://wwsoc.nii.ac.jp/msj/) からお申し込み下さい)			
会 員 種 別 (希望の記号を○で囲む。賛助会員は会費(4万円以上)を記入)			
1. 通常A (一般) 11. 特別A (一般) 共に (会費 6,900円、「天気」を無償配布) 2. 通常B (一般) 12. 特別B (一般) 共に (会費12,600円、「天気」と「気象集誌」を無償配布) 3. 通常A (学生) 13. 特別A (学生) 共に (会費 4,200円、「天気」を無償配布) 4. 通常B (学生) 14. 特別B (学生) 共に (会費 8,100円、「天気」と「気象集誌」を無償配布) 5. 通常A (高年) 15. 特別A (高年) 共に (会費 4,200円、「天気」を無償配布) 6. 通常B (高年) 16. 特別B (高年) 共に (会費 8,100円、「天気」と「気象集誌」を無償配布) 17. 特別C (会費 6,600円、「気象集誌」を無償配布) 注① 通常会員には総会での議決権、役員に関する選挙権などが有り、特別会員には有りません。 ② (高年) 会員は本人がこの種別を希望し、前年12月末に65歳以上に達してい個人です。 31. 賛助会員 (会費 万円、「天気」と「気象集誌」から希望のものを無償配布)			
希望支部 (外国在住者のみ記入。希望なしは関東支部。(国内在住者は自動的に決定されます))			
1. 北海道 2. 東北 3. 関東 4. 中部 5. 関西 6. 九州 7. 沖縄			
機関誌の配布開始希望月 (年途中からの会費は月割りとなります)			
天 気	巻 号から	気象集誌	巻 号から
定期購読希望 (機関誌以外の刊行物)			
気象研究ノート	1. 希望する (号から)	2. 希望しない	
大会予稿集	1. 希望する (年春から / 秋から) (号から)	2. 希望しない	
来年からの会費納入方法			
1. 郵便口座からの引落とし 2. 銀行口座からの引落とし 3. 郵便局からの振込み 注① 1,2. の場合は折り返し必要書類をお送りします。記入のない場合は、3. とします。 注② 手数料が安く、全国的に利用できる1. がお勧めです。			
通信欄 (その他)			

月 割 り 会 費	号 数	単 価	小 計
天 気		円	円
気 象 集 誌		円	円
合 計			円

(月割り会費の単価)

天気 : 一般 580円、学生・高年 350円。
気象集誌 : 一般 950円、学生・高年 650円、
特別C 1,100円。